

企業の「危機管理能力」調査

Survey on Corporate Crisis Management Ability



近年、事故や事件、自然災害の他、情報環境の急激な変化にもない、企業にとって危機管理の重要性がより高まってきている。企業広報戦略研究所と東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センターは企業の実態を調査するため、共同で「企業の危機管理に関する調査」を実施した。

調査結果を元に「リーダーシップ力」「予見力」「被害軽減力」「回避力」「再発防止力」の5つの視点からなる「危機管理ペンタゴンモデル」を独自に開発、企業の活動実態を数値データ化し、インフォグラフィクスにまとめた。

危機管理における企業の取り組みや傾向、メディアとの認識の「ずれ」などに着目し、可視化した。今後の危機管理体制における一層の強化に役立てていただければ幸いです。

危機管理ペンタゴンモデル分析

Crisis Management Pentagon Model

危機管理ペンタゴンモデルを用いて「リーダーシップ力」「予見力」「回避力」「被害軽減力」「再発防止力」の5つの視点から、企業の危機管理におけるスコア（500点満点）をクラス毎に可視化している。

クラス

- S 400点以上
- A 399~300点
- B 299~200点
- C 199~100点
- D 99点以下

全体平均

リーダーシップ力

Leadership
組織的な危機管理能力向上に対するトップなど経営陣のコミュニケーション・実行力。

再発防止力

Recurrence Prevention
危機発生時の経験と向き合い、より効果的な危機管理や社会的信頼の回復を実現していく組織的能力。

予見力

Foresight
将来、自社に影響を与える可能性がある「危機」を予見し、組織的に共有する力。

被害軽減力

Damage Reduction
危機が発生した場合に、迅速・的確に対応し、ステークホルダーや自社が受ける被害を軽減する組織的能力。

回避力

Avoidance
危機の発生を未然に予防回避、または、危機の発生を事前に想定し、影響を軽減する組織的能力。

クラス	S	A	B	C	D
判定基準	400点以上	399~300点	299~200点	199~100点	99点以下
	(26社)	(70社)	(88社)	(101社)	(107社)

全体平均：198点
（上記は）500点満点中の各危機管理能力の点数

業種別予見力 TOP 5 / WORST 5

Top 5 / Worst 5 Industries in Foresight

危険を未然に防ぐ「予見力」を業種別にランキング形式で示している。予見力とは、将来、自社に影響を与える可能性がある「危機」を予見し、組織的に共有する力。

業種別予見力 TOP 5



1位 電気・ガス
Electric and Gas
クラスA

予見力 81%



2位 食品
Food
クラスB

予見力 53%



3位 運輸・倉庫
Transportation
クラスB

予見力 52%



4位 金融・証券・保険
Finance, Security and Insurance
クラスB

予見力 50%



5位 電気機器
Electronic Equipment
クラスB

予見力 43%

業種別予見力 WORST 5



11位 卸売・小売
Wholesale and Retail
クラスC

予見力 32%



12位 建設・不動産
Construction and Real Estate
クラスC

予見力 31%



13位 情報・通信
Telecommunications
クラスC

予見力 28%



14位 その他
Others
クラスC

予見力 26%



最下位 機械
Machinery
クラスC

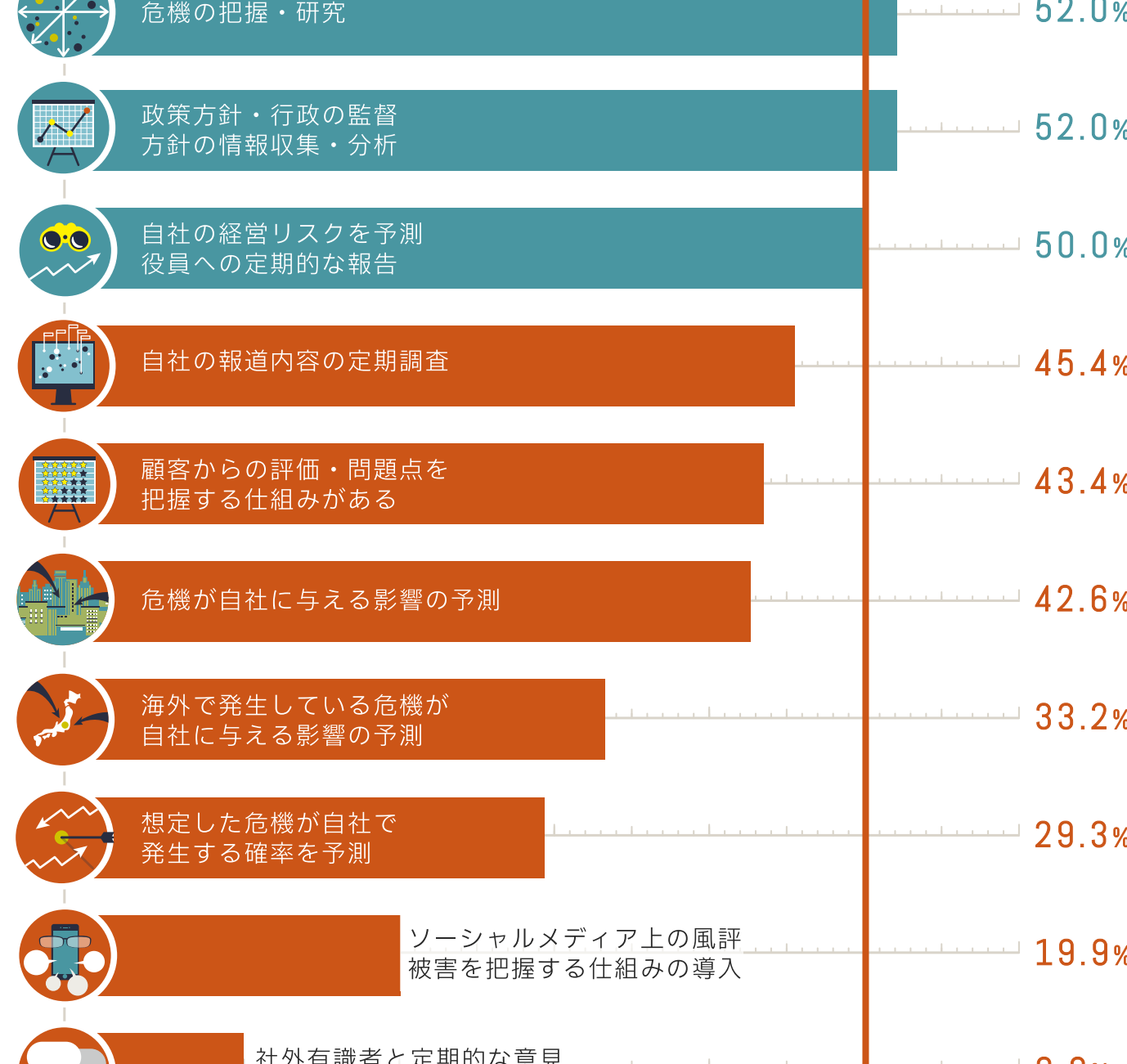
予見力 22%



「予見力」に関する活動実施率

Activity Implementation Rate Related to 'Foresight'

「再発防止力」を除く最もスコアが低かったのは「予見力」。予見力に関する取り組みを聞いた設問では10項目中7項目が50%以下の実施率だった。

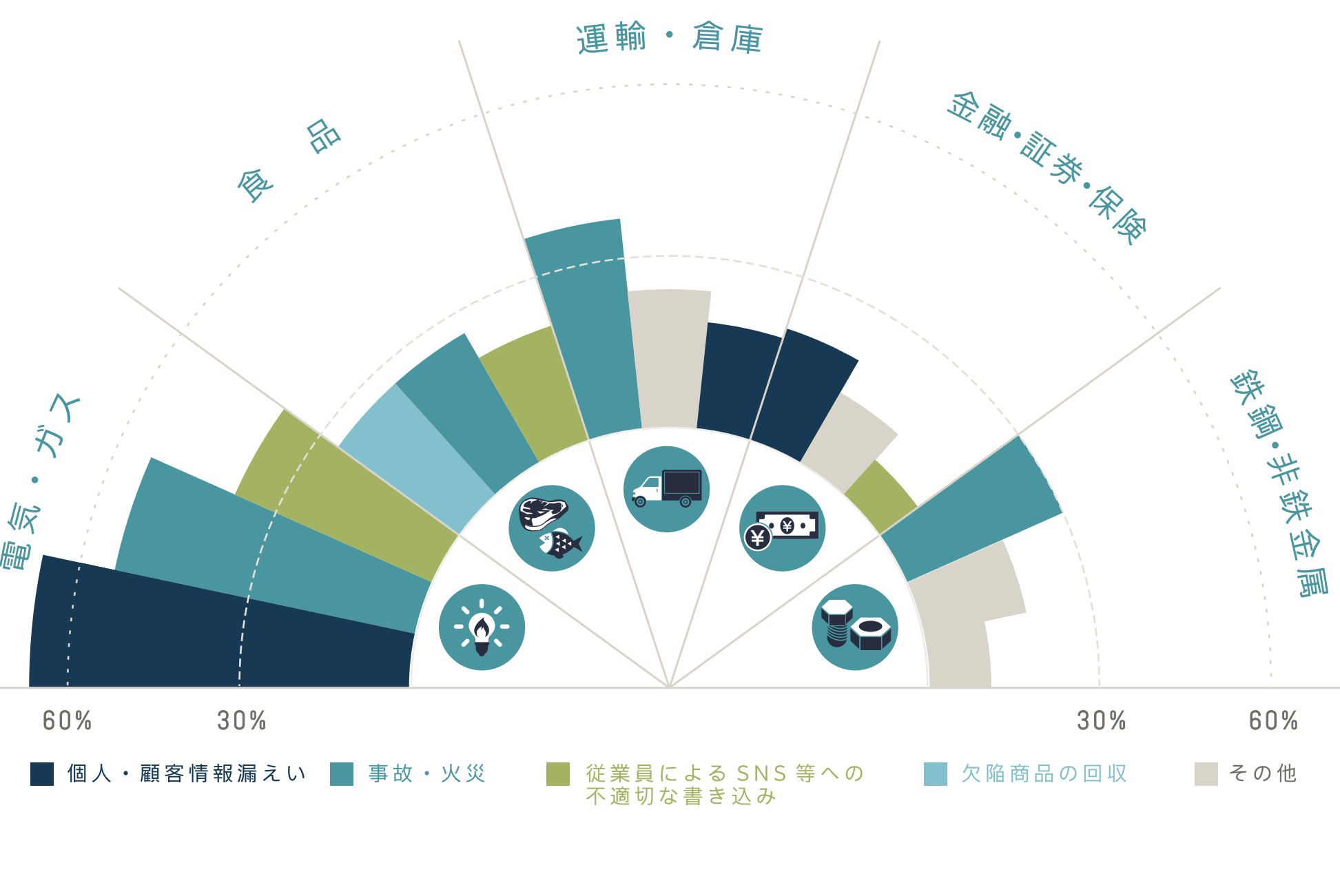


※再発防止力に関しては過去に危機に遭遇した経験がないと回答する企業の一部において無回答だったため低く算出されている。

総合スコア TOP 5 の業種別で見る危機遭遇率

Probable Crisis Scenarios for Top 5 Industries

各業種ごとに危機遭遇率の高い事象の1~3位を調査したところ、業種は異なっても遭遇率の高い危機に関しては共通するものが多かった。棒グラフの高さで危機遭遇率を、色でそれぞれの危機を分けている。

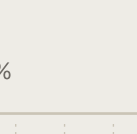


危機遭遇率 TOP 10 と企業とメディアの危機に対する認識のギャップ

Top 10 Probable Crisis Scenarios and the Gap of Crisis Awareness between Companies and Media

発生頻度の高い危機について、メディアが「関心がある」項目と、企業が感じる「社会からの批判の強い」項目をそれぞれ指数化し、そのギャップ（認識のずれ）を示している。

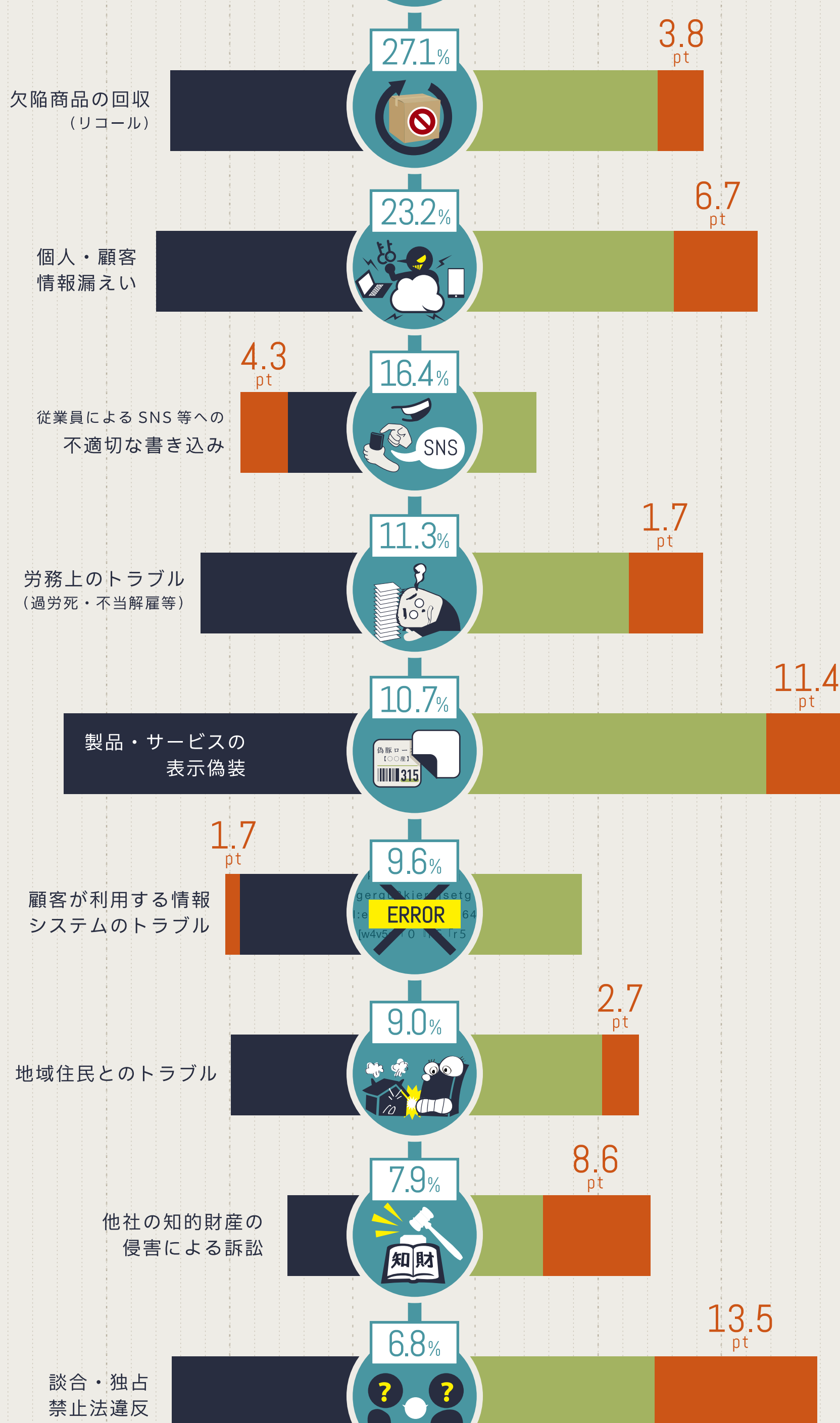
■ メディアと企業の認識ギャップ



メディアの関心度



企業が感じる「社会からの批判の強さ」



※直近2年遭遇率=過去2年以内に危機に遭遇した177社における割合